

志木市新庁舎建設工事設計業務設計候補者選定  
プロポーザルの審査結果及び審査講評について

平成29年4月

志木市新庁舎建設工事設計業務設計候補者選定委員会

## 1. 選定結果

志木市新庁舎建設工事設計業務に係る公募型プロポーザルについて、第1次審査で選定された事業者から提出された技術提案書について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施したうえで、志木市新庁舎建設工事設計業務設計候補者選定委員会において第2次審査を行った結果、次のとおり最優秀者（設計候補者）及び優秀者（次点）を選定した。

最優秀者（設計候補者）	<u>株式会社 佐藤総合計画</u>
優秀者（次点）	<u>株式会社 石本建築事務所</u>

## 2. 講評及び結果の詳細

第1次審査では、参加表明の提出のあった3者（審査については匿名でA者、B者及びC者とした）について、設計事務所の技術職員数、業務実績、組織体制ならびに設計のコンセプト等について厳正なる審査の結果、第1次審査通過者として3者を選定した。

第2次審査では、3者（審査については匿名でA者、B者及びC者とした）から提出された技術提案書について、公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施したうえで、設計工程業務の実施方針及び4つの特定テーマについての的確性や創造性、実現性、そして業務の理解度及び取り組み意欲について、総合的に評価を行った。

提案者はいずれも豊富な設計実績を有し、各々の提案は質の高い内容であった。第2次審査では、「安心・安全な庁舎について」、「志木市らしい庁舎について」、「ライフサイクルコストについて」、そして「その他独自のテーマについて」の4テーマを含む技術提案などを基に総合評価を実施した。とりわけ、志木市固有の特徴である2本の河川に挟まれた敷地周辺の自然環境や、都市中心軸とつながる景観を“志木らしさ”の要素としてどのように提案に反映させているかは評価ポイントの一つとなった。

選定委員会による第2次審査の結果、総合評価点（100点満点）の最も高い提案者である最優秀者（設計候補者）については、株式会社 佐藤総合計画（A者）を選定し、次に高い提案者である優秀者（次点）については、株式会社 石本建築事務所（C者）を選定した。

最優秀者（設計候補者）となった株式会社 佐藤総合計画の提案は、庁舎の安全性、災害時の業務継続性、機能的かつ効率的な執務空間、意匠ならびに景観形成の考え方、敷地屋外空間の市民利用ならびに街並み形成に対する方針、環境配慮、設計スケジュール管理の考え方、業務実施方針などについて、きめ細かく配慮された内容となっている。

特に、東西に配置した2つのコアによる機能的かつ効率的な執務空間の考え方を提案するとともに、行政機能・議会機能・市民利用機能を踏まえた適切なフロアレイアウトを提案している点について、高く評価された。また南面に設けた各階のステップテラスは階段によって上下階が相互に結ばれ、利用者のアクセス性を高めるとともに、自然災害などの非常時には避難路として効果的に機能するなど、十分に考慮されている。また同時に、敷地北側に接する住宅系市街地に対する圧迫感の軽減に配慮した配置計画や上階のセットバックなどデザイン上の工夫についても高く評価された。

また、仮設庁舎は2棟分棟として中庭空間を設け、日照、通風など適切な屋内環境を提案するとともに、1棟ごとの床面積を抑えることで、関係法令に準拠しつつ設備費の低減を図るなど、全体のコスト低減に対する効果的な提案として優れたものとなっている。

優秀者（次点）となった株式会社 石本建築事務所の提案は、2つの河川に挟まれた場所に建つ新庁舎を新河岸川からの新たなランドマークとして位置づけ、市民にとって身近な交流と多様な活動を行う空間として提案している。敷地南側の複数の屋外広場（いろは広場・いろはテラス）の組み合わせと建物内の市民ラウンジ（志木のリビング）などをつなげる全体計画は、効果的な市民利用の促進と開放的な街並みの形成に貢献する点で高く評価された。

配置予定技術者ならびにアーバンデザイン監修者の実績として、都市スケールのまちづくりと庁舎建築の設計とを組み合わせたプロジェクトについての経験が豊富である点についても評価された。その一方で、提案の行政執務空間の規模は、市が基本計画の中で新庁舎の諸室面積として設定している執務室の想定面積と比べ十分確保されておらず、本質的な課題であるとされた。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やしていただいたことに心より感謝を申し上げます。

志木市新庁舎建設工事設計業務設計候補者選定委員会

委員長 有 賀 隆（早稲田大学理工学術院長補佐・教授）

### 3. 志木市新庁舎建設工事設計業務設計候補者選定委員名簿

学識者	有賀 隆	早稲田大学理工学術院長補佐・教授（委員長）
学識者	香取 慶一	東洋大学理工学部教授
学識者	木下 庸子	工学院大学建築学部教授
埼玉県	柳沢 孝之	埼玉県都市整備部営繕課長
志木市	櫻井 正彦	志木市副市長（副委員長）
志木市	尾崎 誠一	志木市総務部長
志木市	谷澤 嘉弘	志木市都市整備部長

### 4. 審査の経過

- 平成28年11月25日 第1回選定委員会
- 12月 1日 公募型プロポーザルの公告
- 12月 7日 参加表明書に関する質疑受付
- 12月14日 参加表明書に関する質疑に対する回答
- 平成29年 1月13日 参加表明書の期限
- 1月24日 第2回選定委員会（第1次審査）
- 2月 1日 選定等の通知・公表（第1次審査）
- 2月 8日 技術提案に関する質疑受付
- 2月15日 技術提案に関する質疑に対する回答
- 3月15日 技術提案書の提出期限
- 3月29日 第3回選定委員会（第2次審査）
- 4月11日 審査結果の通知（第2次審査）
- 4月14日 審査結果の公表（第2次審査）